



# ヤマボウシ [山法師]

5本の樹

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



**科名** ミズキ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや速い

初夏には白い花、秋には赤い果実と紅葉が楽しめる自然樹形の美しい在来種。熟した果実は食べられる。また、野鳥もついばみに訪れる。山法師は中央にある球状の小花を坊主頭に、花弁に見える白い苞（ほう）を頭巾（ずきん）に見立てた命名。常緑のヤマボウシは外来種。



緑葉



花



紅葉



実

## Memo

関東以西の山地に自生している。2～3年周期で花が多い年と少ない年が繰り返される傾向がある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■							
果 実										■			
紅 葉												■	
施 肥		■							■				
剪 定		■							★★★				■

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾		○	○ 湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強		○	弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○		○		○	

## ポイント

夏期は水切れすると葉焼けを起こし、葉の周囲が褐色になるので十分に灌水する。特に植付直後の数年間は水切れに注意する。西日と建物や道路からの輻射熱の影響を緩和するとよい。

## 剪定

剪定は本来の樹形を生かす枝抜き剪定がお薦め。枝抜き剪定は、枝の途中ではなく枝分れする基部から剪定する方法。長い枝を残すことで伸びやかな樹姿になる。

## 病虫害

樹幹に穴をあけるテッポウムシ（カミキリムシの幼虫）の被害に注意。アブラムシなどの排泄物が葉につくと二次的に「すす病」が誘発されるので一緒に対処する。

呼べる鳥



[カケス](#)・[メジロ](#)・[オナガ](#)・[ツグミ](#)  
コムクドリ